

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	保育課長 福士 学	
こども-14	公立保育所管理運営事業	■ 自治事務	主管課	保育課
重点事業		□ 法定受託事務	関連課	こども支援課
総合計画上の位置付け	分野	4-(2) 子育て	施策の方針	4-(2)-①子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童
意図	両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。
効果	公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

公立保育所4園の運営を行い、必要となる経費を執行した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	公立保育所管理運営事務	公立保育園の管理運営	延べ受入児童数(人)	5,361 / 135,657	5,520 / 167,310	5,520 / 178,804	97.1%
02	公立保育所給食事務	公立保育園の給食業務委託等	栄養士による栄養管理 会議実施回数(回)	48 / 119,246	48 / 123,066	48 / 137,559	100%
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源 内訳	国県支出金	4,548 /	4,549	15,341	
			地方債	/			
			その他特定財源	97,540 /	100,202	110,523	
			一般財源	152,815 /	185,625	190,499	
			事業費の合計（千円）	254,903 /	290,376	316,363	
			人件費（千円）	920,366		861,561	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	89	85	85	85	84.7	80.7
会計年度任用職員	164	149	152	152	155	125

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公立保育所管理運営事務	各園には定員が設定されていることから、当該定員に対する受け入れ人数(延べ)を指標とした。	公立保育所を適正に管理運営することは、安心して子育てができる環境の整備に寄与する。	配慮が必要な児童が増加しており、受け入れ態勢の整備や加配保育士の確保等に課題がある。
02	公立保育所給食事務	公立保育所で児童の保育を行う際に必要な給食事務に関し、栄養面から子どもたちの育ちに寄与することを図り、栄養士による栄養管理会議を目標どおり実施した。	公立保育所において給食提供を適切に行うことは、安心して子育てができる環境の整備に寄与する。	食材料費の高騰が続いていることから、食材や献立に工夫が必要である。
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☒ 改善・変更	☐ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
保育士の採用・育成を計画的に行うことで、安定的に児童の受入れを実現していく。また、引き続き物価の高騰が続いていることから、給食で提供する食材や献立について検討を進めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	栄養士による栄養管理会議実施回数(回)						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
栄養士による栄養管理会議を定期的に実施することが、確実な給食の提供につながるため。	目標値	－	60	60	60	48	48	
	実績値	60	60	60	60	48		
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	待機児童数(令和6年4月時点)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	三浦市	横浜市	川崎市	横須賀市
他市実績	9人	17人	0人	3人	0人	0人	0人	3人

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	待機児童の解消には至らなかったことから、引き続き待機児童の減少に努めていく。
--------------------------	--